

学生の確保の見通し等を記載した書類

千葉大学情報・データサイエンス学府

目 次

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況	P3
ア. 学科等を設置する大学等の現状把握・分析	P3
イ. 地域・社会的動向等の現状把握・分析	P3
ウ. 新設学科等の趣旨目的, 教育内容, 定員設定等	P3
エ. 学生確保の見通し	P4
A 学生確保の見通しの調査結果	P4
B 新設学部等の分野の状況／競合校の状況	P5
C 既設学部等の学生確保の状況	P5
オ. 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果	P5
(2) 人材需要の動向等社会の要請	P6
① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の 目的 (概要)	P6
② 上記①が社会的・地域的な人材需要動向等を踏まえた ものであることの客観的な根拠	P6

(1) 学生の確保の見通し及び申請者としての取り組み状況

本学情報・データサイエンス学府における専攻は、情報・データサイエンス専攻1専攻とし、その入学定員は10名とする。その入学定員の学生の確保の見通しは以下のとおりである。

ア 学科等を設置する大学等の現状把握・分析

喫緊の社会課題であるデジタル人材の育成においては、これまで工学部や融合理工学府の情報工学分野が専門人材育成に貢献してきたが、文系理系問わず今日のデジタル時代の「読み・書き・そろばん」である「数理・データサイエンス・AI」の基礎的な素養を育成するため、令和2年度入学者より、数理・データサイエンス科目3単位を全学必修化している。この取組は「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム認定制度（リテラシーレベル）」の認定を受けるとともに、優れた取組として「リテラシーレベルプラス」の選定を受けている。

さらに専門的な知識・技能を養うため、令和2年度より、全学副専攻「数理・データサイエンス教育プログラム」を開始し、「修了証書（30単位）」「履修証明書（20単位）」を発行しているが以下のような課題と目標がある。

- ・主専攻の設置により、エキスパートレベルの人材を育成する教育体制の整備が必要
- ・主専攻があることによる波及効果で、全学のデータサイエンス教育の推進が必要（現在の副専攻履修学生は全体の3.3%）

イ 地域・社会的動向等の現状把握・分析

教育未来創造会議より令和4年5月に出された「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について（第一次提言）」等において、日本のデジタル人材の不足が叫ばれており、本提言の中においても、『デジタル田園都市国家構想の検討においては、全ての労働人口がデジタルリテラシーを身に付け、デジタル技術を活用できることを目指すとともに、専門的なデジタル知識・能力を有し、デジタル実装による地域の課題解決をけん引する人材を「デジタル推進人材」（ビジネスアーキテクト、データサイエンティストなどを想定）と位置づけ2024年度末までに年間45万人育成する体制を整え、2026年度までに230万人の育成を目指す』ことが示されている。

このとおり、デジタル人材の育成は社会的にも求められており、本学府の設置は社会的動向にも即したものと言える。

ウ 新設学科等の趣旨目的、教育内容、定員設定等

前述の「学科等を設置する大学等の現状把握・分析」及び「地域・社会的動向等の現状把握・分析」を踏まえ、データエンジニアリング力、データサイエンス力、データサイエンス

展開力に加えて、これらを高度に統合した能力である、データサイエンス高度展開力やデータサイエンスイノベーション力を高度なレベルで兼ね備え、イノベーションを先導できるデータサイエンスを実践的に担うデータサイエンス技術者となる人材の育成を目指し、新たな学府（入学定員 10 名）を設置する。

これらの人材を育成するため、データサイエンスにおける多様な研究テーマに取り組む学生が相互に協調して研究を進めるオープンイノベーションが実践できる研究環境を提供する。

なお、学生納付金は、国立大学等の授業料その他の費用に関する省令に基づき、本学が定める国立大学法人千葉大学における授業料その他の費用に関する規程に従って設定する。

エ 学生確保の見通し

A 学生確保の見通しの調査結果

① アンケートの概要

令和 5 年 1 月に、(i) 本学の融合理工学府博士前期課程に在籍する 1 年生及び (ii) 平成 29 年～令和 3 年度に千葉大学融合理工学府を修了した学生の就職実績（2 名以上）がある企業等 348 社に対して、アンケート調査を実施した。

当該アンケートの実施に当たっては、本学府の概要を示すためのパンフレット【資料 1】を配付し、当該パンフレットに記載されている本学府の養成する人材像等に関する情報を参考に、融合理工学府博士前期課程に在籍する 1 年生にはアンケート【資料 2】に、企業等にはアンケート【資料 3】に回答していただくという形で行った。

② アンケート結果

(i) 本学の融合理工学府博士前期課程に在籍する 1 年生へのアンケートに対し、120 名（回収率 18.2%）から回答があり、このうち、進路希望として博士後期課程を希望する可能性があるとして回答した学生は 45 名であった。この 45 名に対して、『「情報・データサイエンス学府（後期 3 年博士課程）」（仮称、設置構想中）の内容について、関心を持ちましたか』という質問をしたところ、「大いに関心を持った」「関心を持った」「やや関心を持った」と回答した学生が計 37 名という結果となった。

さらに、『「情報・データサイエンス学府（後期 3 年博士課程）」（仮称、設置構想中）が設置された場合、将来的に進学を希望しますか』という質問に対しては、「修士課程修了後、そのまま進学したい」と回答した学生が 2 名、「奨学金制度や経済的支援があれば進学したい」と回答した学生が 2 名、「一定の社会人経験を積んでから取得する可能性がある」と回答した学生が 14 名という結果となり、本学府への関心の高さがうかがえる結果となった（詳細は【資料 4】を参照）。

(ii) 企業等へのアンケートに関しては、79 社（回収率 22.7%）から回答があり、『貴社・貴団体の社員・職員の方を千葉大学「情報・データサイエンス学府」に派遣して、学位

を取得させたいと思いますか』という質問に対し、「そう思う」と回答した企業等が3社、「ある程度そう思う」と回答した企業等が15社という結果となった（詳細は【資料5】を参照）。

本アンケート調査での回答率（22.7%）から、本来は4倍程度の回答が見込めるところではあるが、低く見積もって2倍の回答があったと仮定すると、「そう思う」が6社及び「ある程度そう思う」が30社との回答が見込める。このうち、令和6年度に派遣される人数として、社会的ニーズを踏まえると、「そう思う」と回答した6社に加え、「ある程度そう思う」と回答した30社のうち、低く見積もって1割から派遣されると仮定しても、3社からの派遣が見込まれることから、合計で9社からの派遣を見込むことができると考えられる。

以上のことから、入学定員10名に対して、（i）特別RAを始めとする経済的支援があることから、内部進学希望者が4名程度、（ii）アンケート調査先の企業等から9名程度いることから、設置年度である令和6年度にも13名程度の志願者を見込むことができ、また、将来的な需要も高いことがうかがえることから、新学府設置後も高い水準での志願者数を確保できると考えられる。

B 新設学部等の分野の状況／競合校の状況

他のデータサイエンス系の大学院を持つ大学の志願者数を見ると、例えば滋賀大学データサイエンス研究科（博士後期課程）の志願者数等は以下のとおりであり、データサイエンスの需要を確認することができる。

	募集	志願者	受験者	合格者	入学者
令和5年度	3	4	4	3	3
令和4年度	3	6	6	6	5
令和3年度	3	3	3	3	3

（出典：滋賀大学 HP）

C 既設学部等の学生確保の状況

本学における博士後期課程の志願者は、【資料6】のとおりであり、既存の融合理工学府においても、志願者を安定的に確保している。

オ 学生確保に向けた具体的な取組と見込まれる効果

本学府は、学生確保に向け、養成する人材像や当該人材を育成するための特徴的なカリキュラム等を紹介すべく、ホームページを開設するほか、パンフレットを作成し、学内外に配付する。また、本学が大学院進学・入学説明会を複数回主催し、積極的に広報するとともに、本学府の魅力積極的にアピールする。

(2) 人材需要の動向等社会の要請

① 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

前述のとおり、教育未来創造会議より令和4年5月に出された「我が国の未来をけん引する大学等と社会の在り方について（第一次提言）」等において、日本のデジタル人材の不足が叫ばれており、本提言の中においても触れられているように、『デジタル田園都市国家構想の検討においては、全ての労働人口がデジタルリテラシーを身に付け、デジタル技術を活用できることを目指すとともに、専門的なデジタル知識・能力を有し、デジタル実装による地域の課題解決をけん引する人材を「デジタル推進人材」（ビジネスアーキテクト、データサイエンティストなどを想定）と位置づけ 2024 年度末までに年間 45 万人育成する体制を整え、2026 年度までに 230 万人の育成を目指す』ことが示されている。

これらの社会的要請を受け、本学府において、データサイエンスを実践的に担うデータサイエンス技術者には、前述のデータエンジニアリング力、データサイエンス力、データサイエンス展開力に加えて、これらを高度に統合した能力である、データサイエンス高度展開力やデータサイエンスイノベーション力を高度なレベルで兼ね備え、イノベーションを先導できる人材の育成を目指す。

② 上記①が社会的・地域的な人材需要動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

本学府で養成する人材が、実際に社会的な人材需要に即したものであるかを調査するため、前述のとおり、令和5年1月に、平成29年～令和3年度に千葉大学融合理工学府を修了した学生の就職実績（2名以上）がある企業等348社の企業に対して、本学府のパンフレット【資料1】に示されている情報を基に、アンケート【資料3】に回答いただくという形で調査（web調査）を行った。

当該アンケート調査の結果、79社から回答（回答率22.7%）があった（回答の詳細は【資料5】を参照）。

当該企業等からは、『千葉大学「情報・データサイエンス学府」（仮称、設置構想中）がこれからの社会にとって必要だと思われませんか』という設問に対し、「必要だと思う」が91.1%、『千葉大学「情報・データサイエンス学府（仮称、設置構想中）を修了した学生について、採用したいと思われませんか』という設問に対し、「採用したいと思う」が86.1%であるなど、企業等は本学府が育成する人材に対して非常に高い関心を持っていることがわかった。

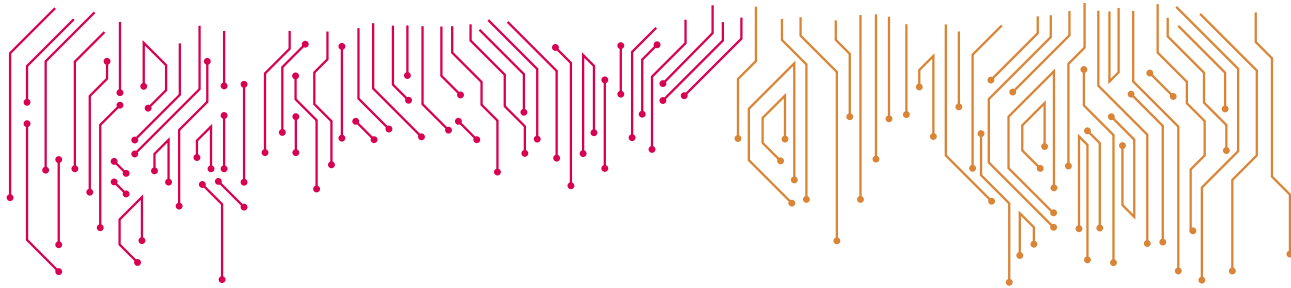
また、『博士課程修了の学歴を持つ人材を採用する場合、どのような系統の学問を修めた人物を積極的に採用したいとお考えですか』という設問に対し、7割以上の企業等から「工学系統（情報・データサイエンス）」との回答があり、また、『博士課程修了の学歴を持つ人材に、どのような能力を求めていますか』という設問に対し、6割近い企業等から「専門性」及び「課題発見力」との回答があるなど、本学府が行うデータエンジニアリング力、デ

ータサイエンス力, データサイエンス展開力, データサイエンス高度展開力及びデータサイエンスイノベーション力が統合的に求められるデータサイエンス技術者の育成を企業が求めていることも把握することができた。

以上のことから, 本学府が育成する人材は, 企業等の多くが求めている人材と一致しており, 当該人材に対する社会的需要は高いとすることができる。

資 料 目 次

資料 1. パンフレット	P2
資料 2. 本学学生への千葉大学「情報・データサイエンス学府 （後期3年博士課程）」（仮称）に関するアンケート	P3
資料 3. 企業への千葉大学「情報・データサイエンス学府 （後期3年博士課程）」（仮称）に関するアンケート	P7
資料 4. 学生へのアンケート結果	P18
資料 5. 企業等へのアンケート結果	P20
資料 6. 千葉大学博士後期課程入試状況	P26



千葉大学情報・データサイエンス学府 (後期3年博士課程) (仮称)

【令和6年(2024年)4月開設に向け、設置構想中】
※記載内容は全て構想中のものであり、変更となる可能性があります。

千葉大学は、データサイエンス技術者を育成するため、
令和6年度に融合理工学府数学情報科学専攻情報科学コース及び
創成工学専攻イメージング科学コース(博士後期課程)を改組し、
情報・データサイエンス学府総合情報学専攻(後期3年博士課程)を新設します。

情報工学 × データサイエンス = 新しいデータ価値創造

育成する人材像

本学府では、データエンジニアリング能力、データサイエンス能力、データサイエンス展開力を高度なレベルで兼ね備え、イノベーションを先導できる人材を育成します。

カリキュラムの特色

- ・情報工学に関する専門分野及び総合大学としての千葉大学が持つ多様なデータを活用したデータサイエンス専門分野(「Well-being」、「Innovation」、「Sustainability」、「Digital Humanities」)を設け、実践的なカリキュラムを構築します。
- ・データサイエンスにおける多様な研究テーマに取り組む学生が相互に協調して研究を進めるオープンイノベーションが実践できる研究環境を提供します。

卒業後の進路

- ・研究者になることに加え、情報関連の企業等へ就職し、データサイエンティスト等で活躍することを想定しています。

キャンパス・学納金

- ・キャンパス：西千葉キャンパス(千葉市稲毛区弥生町1-33)
- ・学納金：入学料282,000円 授業料(年額)642,960円

千葉大学「情報・データサイエンス学府（後期3年博士課程）」 （仮称）に関するアンケート

千葉大学では、データエンジニアリングカ、データサイエンスカ、データサイエンス展開力を高度なレベルで統合的に兼ね備え、イノベーションを先導できる人材を育成するため、学府（後期3年博士課程）を新たに設置したいと考えております。

このような千葉大学新学府（後期3年博士課程）構想の実現に向け、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

なお、新学府は、現行の「融合理工学府 情報科学コース・イメージング科学コース（博士後期課程）」を改組し、新設するものです。

※本アンケートや別添の資料に記載されている事項は全て予定であり、内容が変更になる可能性があります。

※本アンケートへの回答内容が進学に影響を及ぼすことはありません。また、本アンケートより得られた情報は、統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。

* 必須

1. あなたの所属する専攻・コースを教えてください。*

- 【数学情報科学専攻】 数学・情報数理学コース
- 【数学情報科学専攻】 情報科学コース
- 【地球環境科学専攻】 地球科学コース
- 【地球環境科学専攻】 リモートセンシングコース
- 【地球環境科学専攻】 都市環境システムコース
- 【先進理化学専攻】 物理学コース
- 【先進理化学専攻】 物質科学コース
- 【先進理化学専攻】 化学コース
- 【先進理化学専攻】 共生応用化学コース
- 【先進理化学専攻】 生物学コース
- 【創成工学専攻】 建築学コース
- 【創成工学専攻】 イメージング科学コース
- 【創成工学専攻】 デザインコース
- 【基幹工学専攻】 機械工学コース
- 【基幹工学専攻】 医工学コース
- 【基幹工学専攻】 電気電子工学コース
- 【人文科学専攻】 基盤文化コース

2. あなたは将来、博士の学位を取得したいと思いますか。 *

- 修士課程修了後、そのまま進学して取得したい。
- 奨学金制度や経済支援があれば進学して取得したい。
- 3～5年程度社会経験を積んでから、取得する可能性がある。
- 時期はわからないが、社会経験を積んでから取得する可能性がある。
- まだわからない。
- 希望しない（アンケート終了です）。

3. 「情報・データサイエンス学府（後期3年博士課程）」（仮称、設置構想中）の内容について、関心を持ちましたか。 *

- 大いに関心を持った。
- 関心を持った。
- やや関心を持った。
- 関心はない。

4. 「情報・データサイエンス学府（後期3年博士課程）」（仮称、設置構想中）が設置された場合、将来的に進学を希望しますか。 *

- 修士課程修了後、そのまま進学して取得したい。
- 奨学金制度や経済支援があれば進学して取得したい。
- 3～5年程度社会経験を積んでから、取得する可能性がある。
- 時期はわからないが、社会経験を積んでから取得する可能性がある。
- まだわからない。
- 希望しない。

5. 本学の新しい大学院について意見、要望があればお聞かせください
(自由記述)

このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

Microsoft Forms

千葉大学「情報・データサイエンス学部／学府」（仮称）に関するアンケート

千葉大学ではデジタル人材全体の底上げ、専門人材の育成等といった社会の要請に応えるため、総合大学である強みを活かし、新たな学部および新たな大学院（後期3年博士課程）を設置のうえ、データサイエンスに関わる人材を育成したいと考えております。

このような千葉大学新学部／新学府構想の実現に向け、以下のアンケートにご協力をお願いいたします。

※本アンケートや送付した資料に記載されている事項は全て予定であり、内容が変更になる可能性があります。

※本アンケートより得られた情報は、統計資料としてのみ活用し、個人を特定することは一切ありません。

1. アンケートご回答者の人事採用への関与度をお教えてください。*

- 採用の決裁権があり、選考にかかわっている
- 採用の決裁権はないが、選考にかかわっている
- 採用時には直接かわらず、情報や意見を収集、提供する立場にある

2. 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えてください。*

3. 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください。*

- 農・林・漁・鉱業
- 運輸業
- 医療・福祉
- 建設業
- 卸売・小売業
- 複合サービス事業
- 製造業
- 金融・保険業
- サービス業
- 電気・ガス・熱供給・水道業
- 不動産業
- 公務
- 情報通信業
- 飲食店・宿泊業
- 教育・学習支援事業
- その他

4. 貴社・貴団体の従業員数（正規社員・職員）について、ご回答ください。*

- 50名未満
- 50名～100名未満
- 100名～500名未満
- 500名～1,000名未満
- 1,000名～5,000名未満
- 5,000名以上

問5～8は、千葉大学「情報・データサイエンス学部」
(仮称・設置構想中)についてお伺いします。

5. 貴社・貴団体では、学部卒業の学歴を持つ人材を採用する場合、どのような系統の学問を修めた人物を積極的に採用したいとお考えですか。(あてはまるものを全て) *

- 工学系統 (情報・データサイエンス)
- 工学系統 (情報・データサイエンス以外)
- 理学系統
- 医・薬学系統
- 総合科学系統
- 看護・保健学系統
- 農・水産学系統
- 文学系統
- 語学系統
- 法学系統
- 経済・経営・商学系統
- 社会学系統
- 国際関係学系統
- 教員養成・教育学系統
- 生活科学系統
- 芸術学系統
- 学問系統にこだわらない
- その他

6. 貴社・貴団体では、学部卒業の学歴を持つ人材に、どのような能力を求めていますか。（3つ以内）*

最大3個のオプションを選択してください。

- 主体性
- 専門性
- 実行力
- 創造力
- 課題発見力
- 計画力
- 柔軟性
- 発信力
- 状況把握力
- 語学力
- 協調性
- コミュニケーション力

7. 貴社・貴団体（ご回答者）は、千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われませんか。*

- 必要だと思う
- 必要だと思わない
- わからない

8. 貴社・貴団体では、千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称、設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われませんか。*

- 採用したいと思う
- 採用したいと思わない
- わからない

問9～12は、千葉大学「情報・データサイエンス学府
(後期3年博士課程)」(仮称・設置構想中)についてお伺

9. 貴社・貴団体では、博士課程修了の学歴を持つ人材に、どのような能力を求めていますか。(3つ以内) *

最大3個のオプションを選択してください。

- 主体性
- 専門性
- 実行力
- 創造力
- 課題発見力
- 計画力
- 柔軟性
- 発信力
- 状況把握力
- 語学力
- 協調性
- コミュニケーション力

10. 貴社・貴団体では、博士課程修了の学歴を持つ人材を採用する場合、どのような系統の学問を修めた人物を積極的に採用したいとお考えですか。（あてはまるものを全て）*

- 工学系統（情報・データサイエンス）
- 工学系統（情報・データサイエンス以外）
- 理学系統
- 医・薬学系統
- 総合科学系統
- 看護・保健学系統
- 農・水産学系統
- 文学系統
- 語学系統
- 法学系統
- 経済・経営・商学系統
- 社会学系統
- 国際関係学系統
- 教員養成・教育学系統
- 生活科学系統
- 芸術学系統
- 学問系統にこだわらない
- その他

11. 貴社・貴団体（ご回答者）は、千葉大学「情報・データサイエンス学
府」（仮称、設置構想中）は、
これからの社会にとって必要だと思われませんか。 *

- 必要だと思う
- 必要だと思わない
- わからない

12. 貴社・貴団体では、千葉大学「情報・データサイエンス学府」（仮
称、設置構想中）を修了した学生について、採用したいと思われま
すか。 *

- 採用したいと思う
- 採用したいと思わない
- わからない

問13～14は、千葉大学 情報・データサイエンス学府
(後期3年博士課程) (仮称、設置構想中) への入学についてお伺いします。

13. 今後、貴社・貴団体の社員・職員の方を千葉大学「情報・データサイエンス学府」に派遣して、学位を取得させたいと思いますか。*

- そう思う
- ある程度そう思う
- どちらとも言えない
- あまりそう思わない
- そう思わない

14. 社会人の大学院入学に関して、障害となることがあれば教えてください。(あてはまるものを全て)*

- 業務との両立が困難
- 経済的負担が大きい
- 上司や同僚の理解が得られない
- 通学に時間がかかりすぎる
- 大学院修了のインセンティブが少ない
- 大学院の学修は現場で生かない
- その他

15. 千葉大学「情報・データサイエンス学部／情報・データサイエンス学府」（仮称、設置構想中）について、ご意見等がありましたらお聞かせください。

16. 最後に、貴社・貴団体名をお教えてください。
なお、こちらはどの企業等にご回答頂いたかを把握するためのお伺いであり、アンケートの回答は統計的に処理され、特定の企業等が識別できる情報として公表されることはありません。*

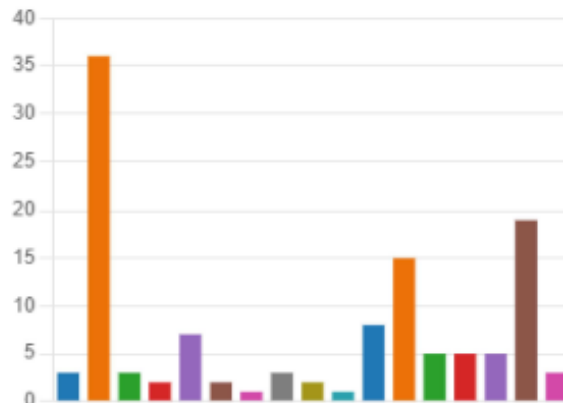
このコンテンツは Microsoft によって作成または承認されたものではありません。送信したデータはフォームの所有者に送信されます。

 Microsoft Forms

融合理工学府博士前期課程1年生へのアンケート結果

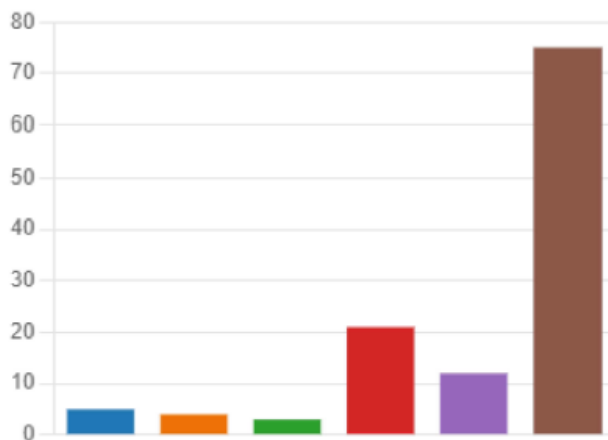
問1 あなたの所属する専攻・コースを教えてください

●	【数学情報科学専攻】数学・情報...	3
●	【数学情報科学専攻】情報科学コ...	36
●	【地球環境科学専攻】地球科学コ...	3
●	【地球環境科学専攻】リモートセンシ...	2
●	【地球環境科学専攻】都市環境シ...	7
●	【先進理化学専攻】物理学コース	2
●	【先進理化学専攻】物質科学コース	1
●	【先進理化学専攻】化学コース	3
●	【先進理化学専攻】共生応用化学...	2
●	【先進理化学専攻】生物学コース	1
●	【創成工学専攻】建築学コース	8
●	【創成工学専攻】イメージング科学コ...	15
●	【創成工学専攻】デザインコース	5
●	【基幹工学専攻】機械工学コース	5
●	【基幹工学専攻】医工学コース	5
●	【基幹工学専攻】電気電子工学コ...	19
●	【人文科学専攻】基盤文化コース	3



問2 あなたは将来、博士の学位を取得したいと思いますか

●	修士課程修了後、そのまま進学して...	5
●	奨学金制度や経済支援があれば進...	4
●	3～5年程度社会経験を積んでか...	3
●	時期はわからないが、社会経験を積...	21
●	まだわからない。	12
●	希望しない（アンケート終了です）。	75



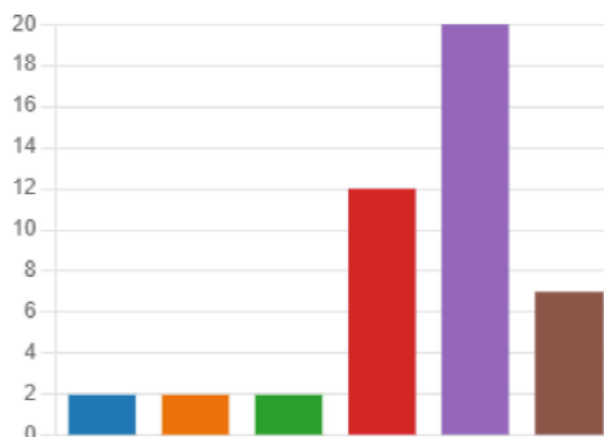
問3 「情報・データサイエンス学府（後期3年博士課程）」（仮称，設置構想中）の内容について，関心を持ちましたか。

● 大いに関心を持った。	10
● 関心を持った。	12
● やや関心を持った。	15
● 関心はない。	8



問4 「情報・データサイエンス学府（後期3年博士課程）」（仮称，設置構想中）が設置された場合，将来的に進学を希望しますか

● 修士課程修了後、そのまま進学して...	2
● 奨学金制度や経済支援があれば進...	2
● 3～5年程度社会経験を積んでか...	2
● 時期はわからないが、社会経験を積...	12
● まだわからない。	20
● 希望しない。	7



問5 本学の新しい大学院について意見，要望があればお聞かせください（自由記述）

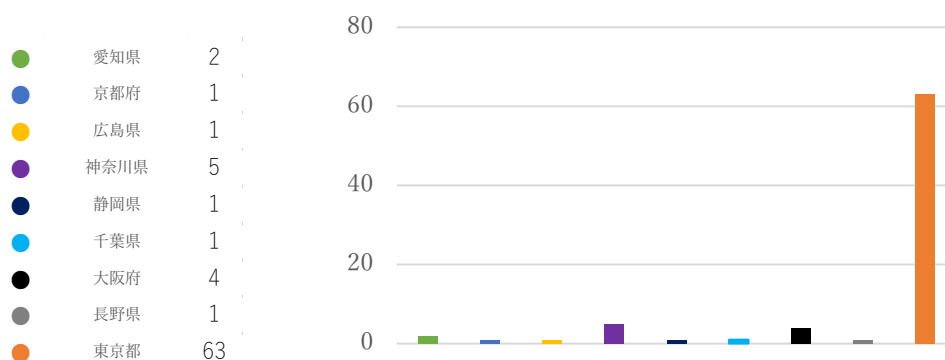
- AIだけでなくビッグデータ，クラウドもカリキュラムに含まれた院にしたら行きます。
- 教授の専門が画像系に偏っているので自然言語処理も強化してほしい。
- 純粋理論，プログラミング，モデリングについて，「バランスよく」だけではなく，どれかに特化した研究をサポートできるような構成にしてほしいと思います。特に，モデリングの分野は，「職人芸」的になっているのではないかとわれ，特に論争の多い社会科学系の分析／研究方法論（統計的分析と質的な面での集合論的分析の文化的違い）を踏まえたモデリング技法を研究できるような場になれば良いと思います。

企業等へのアンケート結果

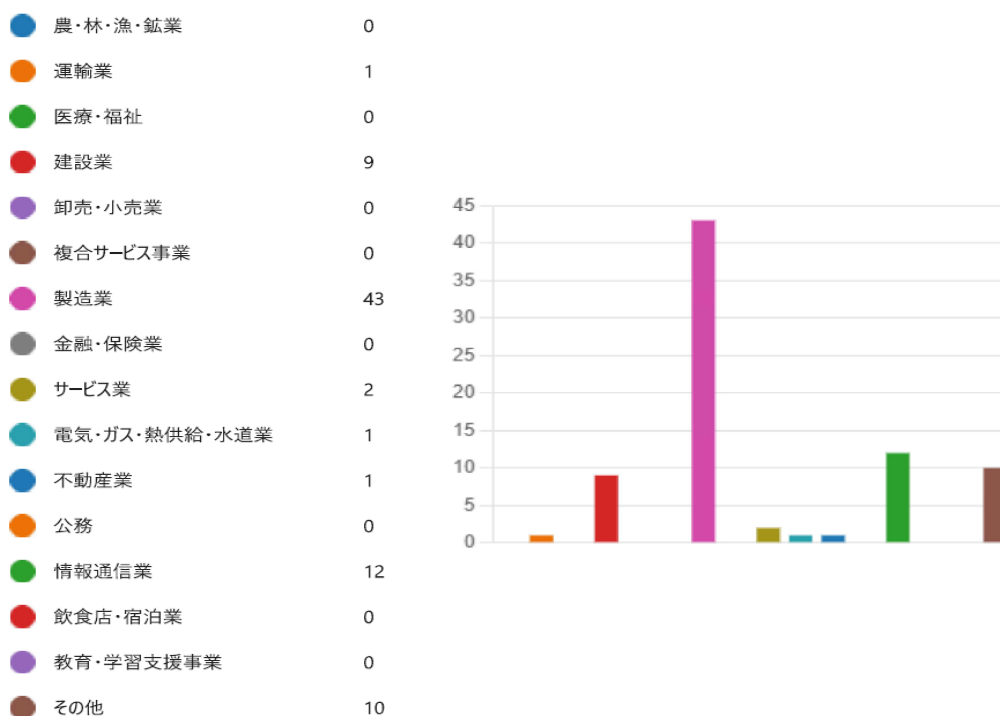
問1 アンケートご回答者の人事採用への関与度をお教えてください



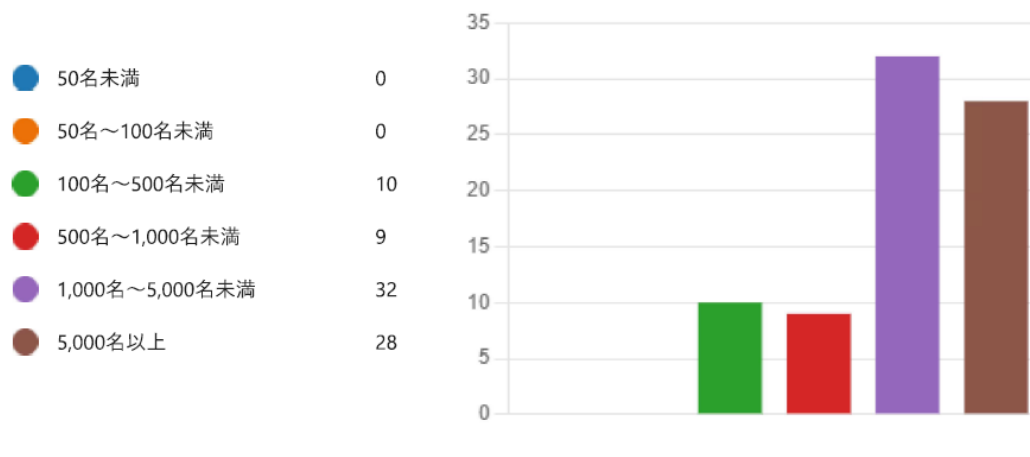
問2 貴社・貴団体の本社（本部）所在地について、都道府県名をお教えてください



問3 貴社・貴団体の業種について、ご回答ください

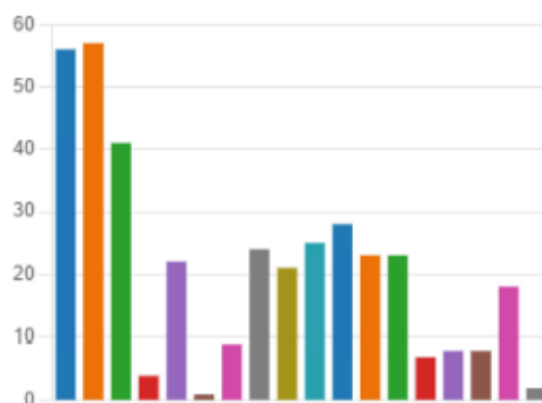


問4 貴社・貴団体の従業員数（正規社員・職員）について、ご回答ください

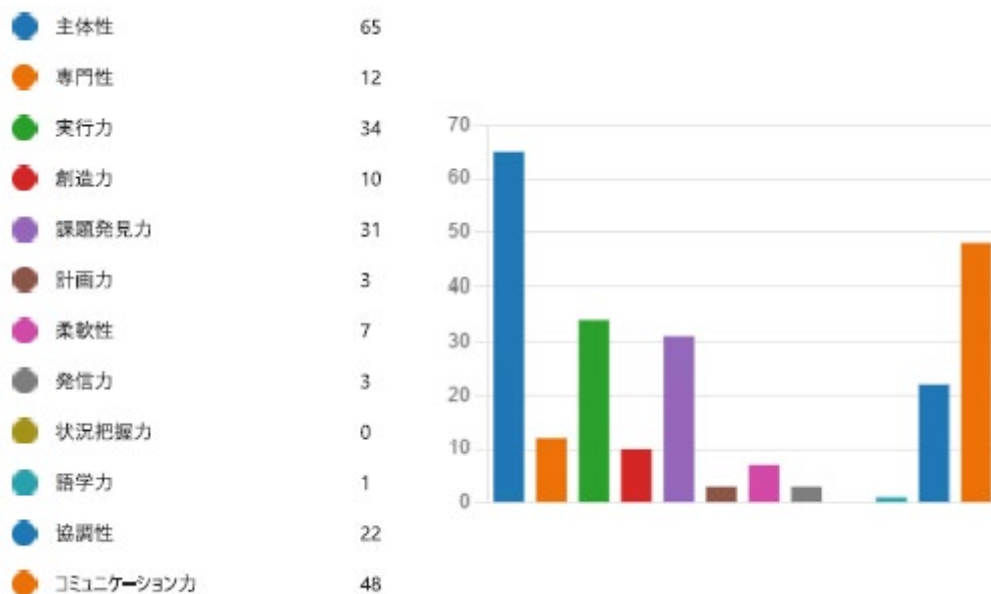


問5 貴社・貴団体では、学部卒業の学歴を持つ人材を採用する場合、どのような系統の学問を修めた人物を積極的に採用したいとお考えですか（あてはまるものを全て）

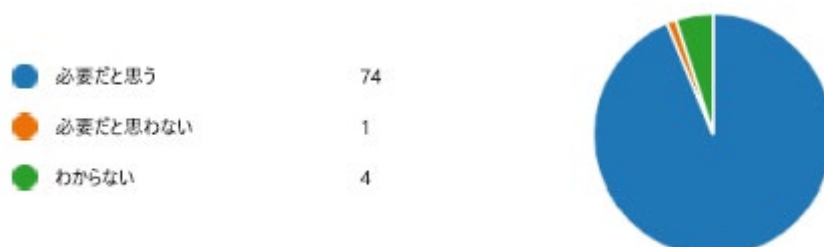
- 工学系統（情報・データサイエンス） 56
- 工学系統（情報・データサイエンス...） 57
- 理学系統 41
- 医・薬学系統 4
- 総合科学系統 22
- 看護・保健学系統 1
- 農・水産学系統 9
- 文学系統 24
- 語学系統 21
- 法学系統 25
- 経済・経営・商学系統 28
- 社会学系統 23
- 国際関係学系統 23
- 教員養成・教育学系統 7
- 生活科学系統 8
- 芸術学系統 8
- 学問系統にこだわらない 18
- その他 2



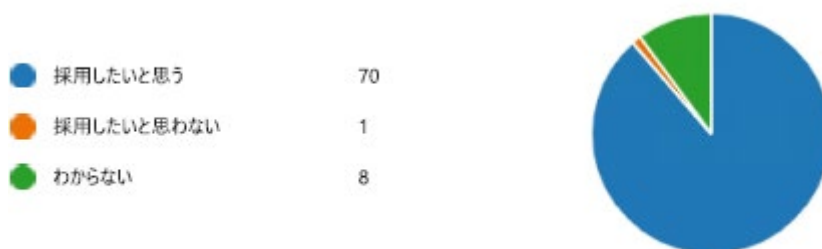
問6 貴社・貴団体では、学部卒業の学歴を持つ人材に、どのような能力を求めていますか
(3つ以内)



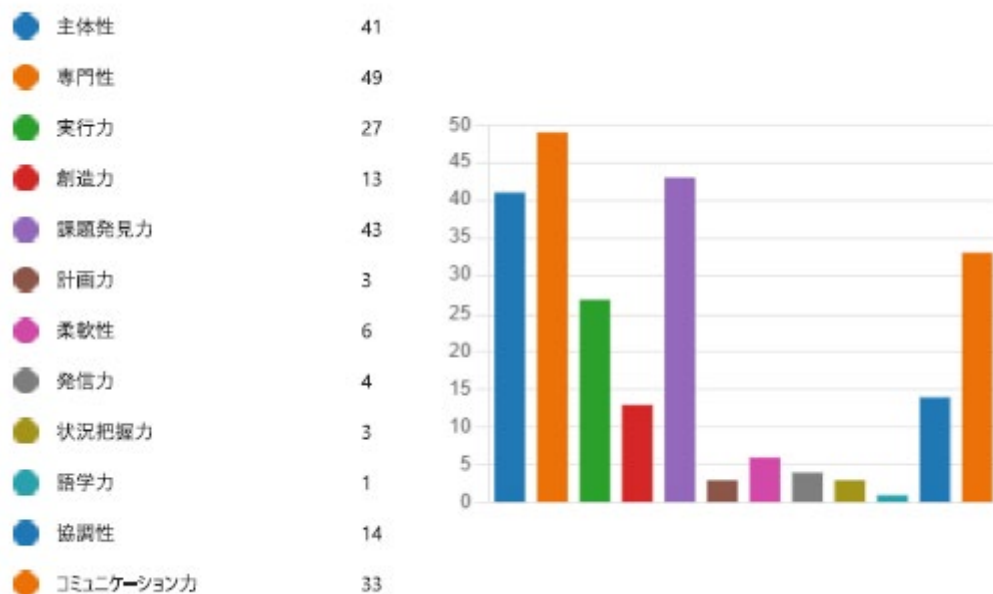
問7 貴社・貴団体（ご回答者）は、千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称，設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われませんか



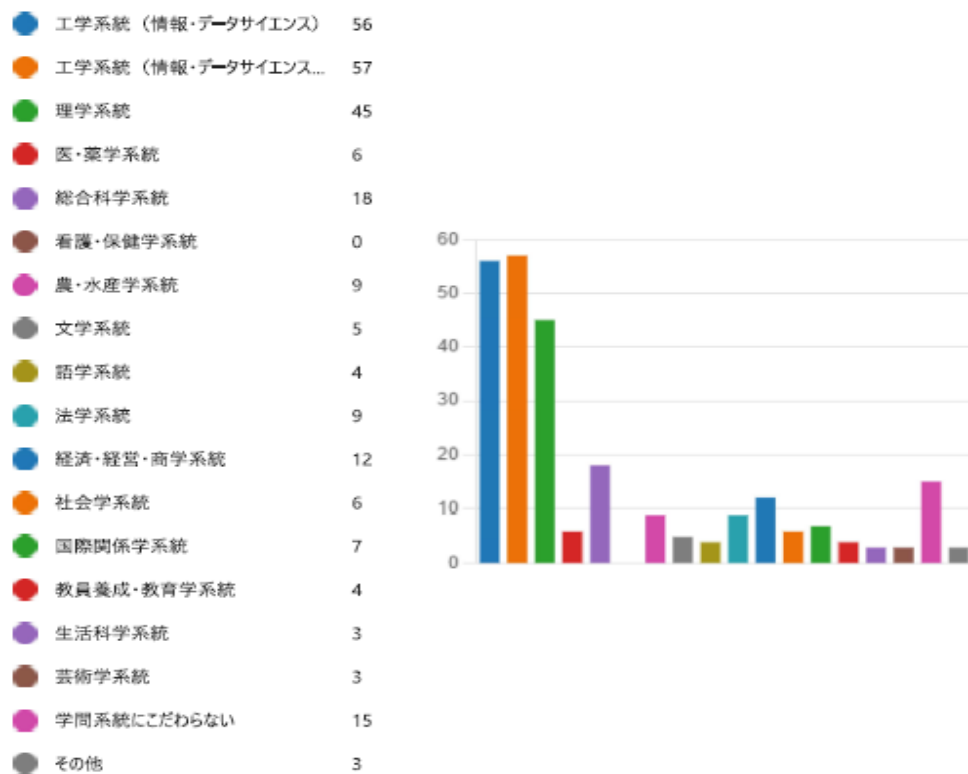
問8 貴社・貴団体では、千葉大学「情報・データサイエンス学部」（仮称，設置構想中）を卒業した学生について、採用したいと思われませんか



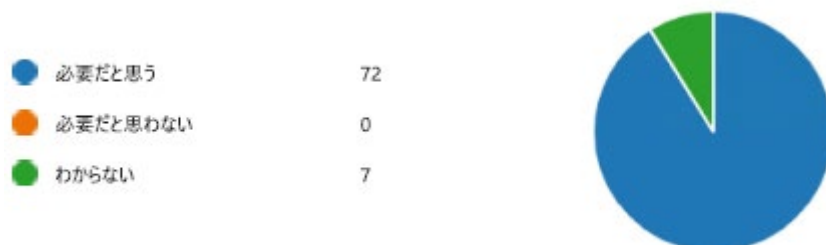
問9 貴社・貴団体では、博士課程修了の学歴を持つ人材に、どのような能力を求めていますか（3つ以内）



問10 貴社・貴団体では、博士課程修了の学歴を持つ人材を採用する場合、どのような系統の学問を修めた人物を積極的に採用したいとお考えですか（あてはまるものを全て）



問 11 貴社・貴団体（ご回答者）は、千葉大学「情報・データサイエンス学府」（仮称，設置構想中）は、これからの社会にとって必要だと思われませんか



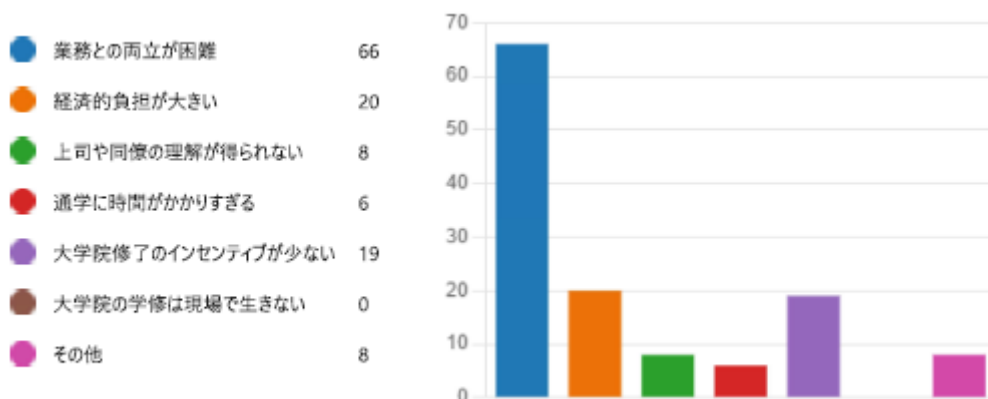
問 12 貴社・貴団体では、千葉大学「情報・データサイエンス学府」（仮称，設置構想中）を修了した学生について、採用したいと思われませんか



問 13 今後、貴社・貴団体の社員・職員の方を千葉大学「情報・データサイエンス学府」に派遣して、学位を取得させたいと思いますか



問 14 社会人の大学院入学に関して、障害となることがあれば教えてください（あてはまるものを全て）



問 15 千葉大学「情報・データサイエンス学部／情報・データサイエンス学府」（仮称，設置構想中）について，ご意見等がありましたらお聞かせください

- データ分析能力は，今後の社会創造，新しい価値観を創造する上で必要である。
- 貴学からは学部/専門問わず長年に渡り優秀な学生さんを採用させていただいてきました。学生さんには，貴学の学問に集中できる環境を活かして，周りの声に惑わされず伸び伸びと学んでいただきたいです。またキャリア教育と英語教育についても同時並行で行っていったらより良い未来が待ち受けていると考えております。是非一緒に学生さんのキャリアを考えていきたいです。
- 社会全体の IT 化が進む中，データサイエンティストの育成は必要と思います。構想が時代の流れによる一過性のものにならず，中長期的に優秀な人材を育成する環境として整備していただきたいと思います。
- 弊社でも IT 研修を拡大しておりますが，バイオ・ケミカル系の研究においてデータサイエンスはツールとしての色が濃く，「何に使うのか」という apply 先の知識・経験を同時あるいは先行して深めることが極めて重要になっています。（例えば医薬品開発のあるフェーズは通常 4 年半かかりますが、AI・データサイエンスの導入により 1 年未満で終了したという極めてインプレッションの高い事例があります。ただし、データサイエンティストにも医薬品開発の知識が要求されます）就学中にデータサイエンスの応用・適用まで理解を深めていただくと、きわめて需要の高い人材に成長できるかと思えます。ご参考になりましたら幸いです。
- これからの情報社会にとっては必要不可欠と考えます。
- 千葉県に研究所や基幹工場があり、データサイエンス機能を強化しようと思っておりますので、採用面はもちろん様々なかたちで連携させていただければありがたいです。

千葉大学博士後期課程入試状況 (定員, 志願者, 合格者, 入学者, 志願倍率)

【資料 6】

博士後期課程全体, 融合理工学府全体

【千葉大学博士後期課程全体】	一般入試選抜										合計				
	4月入学					10月入学									
	定員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	定員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	定員	志願者	合格者	入学者	志願倍率
令和5年度	269	334	278	268	1.24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和4年度	269	283	209	206	1.05	269	68	61	60	0.25	269	351	270	266	1.30
令和3年度	269	275	237	232	1.02	269	60	56	55	0.22	269	335	293	287	1.25
令和2年度	269	294	251	251	1.09	269	40	36	35	0.15	269	334	287	286	1.24
平成31年度	269	268	243	240	1.00	266	55	53	52	0.21	266	323	296	292	1.21

【融合理工学府全体】	一般入試選抜										合計				
	4月入学					10月入学									
	定員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	定員	志願者	合格者	入学者	志願倍率	定員	志願者	合格者	入学者	志願倍率
令和5年度	88	63	59	58	0.72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
令和4年度	88	48	46	44	0.55	88	41	36	35	0.47	88	89	82	79	1.01
令和3年度	88	67	59	55	0.76	88	45	43	42	0.51	88	112	102	97	1.27
令和2年度	88	65	63	60	0.74	88	23	22	21	0.26	88	88	85	81	1.00
平成31年度	88	62	60	60	0.70	88	32	31	30	0.36	88	94	91	90	1.07